

化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024_10025-87-3

物質名 (CAS)	塩化ホスホリル (10025-87-3)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	0.6 mg/m ³	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	153.33	構造式	
	融点	1.25°C		
	沸点	105.8°C		
	密度	1.645g/cm ³ (25°C)		
	飽和蒸気圧	34.6±0.18 Torr (25°C、推定値)		
	飽和蒸気圧濃度	45526 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	475838		

SciFinder®

測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
液体捕集方法—イオンクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	塩化ホスホリルの測定・分析手法に関する検討結果報告書
著者	リスク評価推進事業
資料名	平成25年度職場における化学物質のリスク評価推進事業（ばく露実態調査）実施結果報告書
巻、頁（出版年）	平成26年2月 pp.241～252
備考	添付6-13
捕集	
サンプラー	インピンジャー 純水
捕集流量	1.0 L/min
捕集時間	480 min
採気量	480 L
分析	
前処理方法	—
分析方法	装置：イオンクロマトグラフィー電気伝導度検出器 (IC-ED) カラム：4 mm×250 mm (dionex 社製 AG12A+AS12A)

評価		
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。
	採気量	240 L
	濃度範囲	0.02～4.2 mg/m ³
	評価結果	○
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。
	濃度	—
	抽出/脱着率又は添加回収率	—
	評価結果	—
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。
	濃度	0.001～0.25 mg/m ³
	保存条件	冷蔵（捕集溶液）
	保存日数	5日
	保存率	105%
	評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えている。
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。
	濃度	—
	採気量	—
	破過の有無	—
	評価結果	—
備考	・インピンジャーの捕集効率を確認すること。	
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・塩化ホスホリルや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。 ・塩化ホスホリルは皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。 	

その他の測定法

—